

マイルドプラスターランダム仕上げ 施工の手引き

適用品番

ジョリパットアルファ JP-100シリーズ

ジョリパットノンフリーズ JPW-100シリーズ

【初版】平成22年 4月

【改訂】平成23年11月

アイカ工業株式会社
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材料	商品名	概要	荷姿	標準施工面積
シーラー	ジョリパットシーラー JS-500	1液水系アクリルシーラー (水で50~100% 希釈して使用)	18kg/缶	約135~240 m ² (水希釈量で 変動)
	<u>ジョリパットシーラー</u> <u>JS-410</u>	<u>1液溶剤系</u> <u>アクリルゴム系シーラー</u>	<u>15kg/缶</u>	<u>約75~100 m²</u>
	<u>セーフシーラー</u> <u>JS-800</u>	<u>1液水系珪砂シーラー</u>	<u>16kg/缶</u>	<u>約80~106 m²</u>
主材	<u>ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ</u> (<u>ジョリパットノブリーズ JPW-100 シリーズ</u>) 標準色 <u>JP(W)-100T</u> (<u>...数字</u>) 特注色 <u>JP(W)-100</u> (<u>...英字、...数字</u>)	アクリル共重合樹脂 水性仕上げ塗材	20kg/ 缶	約7 m ²

セーフシーラー JS-800 は2kg×2個セットもございます。使用する面積によってはこちらをご使用いただくことを推奨致します。(施工面積目安：約20~25 m²/セット)

使用する下地に適合したシーラーをご使用下さい。詳しくは各シーラーの説明書または最寄のアイカ工業(株)各支店にお問い合わせ下さい。

ジョリパットノブリーズの使用目安温度は-6 ~ 10 度です。水系のシーラーを使用すると凍結の恐れがありますので、ジョリパットシーラー JS-410 をご使用下さい。

< 主な施工道具 >

- ・ステンレスゴテ(剣先ゴテ)

< 下地調整 >

モルタル金ゴテ押さえ(平滑)など

<マイルドプラスターランダム仕上げ施工方法>

1. シーラー塗布

配 合	JS-500	18kg
	清 水	9~18 ^{リットル}
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-410の場合

配 合	JS-410	15kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

1 JS-800の場合

配 合	JS-800	16kg
塗 布 量	0.15~0.2kg/m ²	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地、主材に応じた最適なシーラーを選定して下さい。

3時間以上48時間以内

2. 主材 下塗り

・JP(W)-100 シーズを無希釈で0.9kg/m²となるよう金ゴテにて平滑に塗布してください。

夏期 4時間以上

冬期 12時間以上

乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

3. 主材 配り塗り

配 合	<u>JP(W)-100 シーズ</u>	20kg
塗 布 量	約2.0kg/m ²	
施工道具	金ゴテ 平滑に材料を配り塗りしてください。	

追いかけて(5分以内)

4. パターン付け

・配り塗りが乾燥しないうちに、ステンレスゴテのエッジ部分に軽く力を入れ、コテを少し壁面から浮かすような感覚で扇状に塗りのばしてパターン付けしてください。

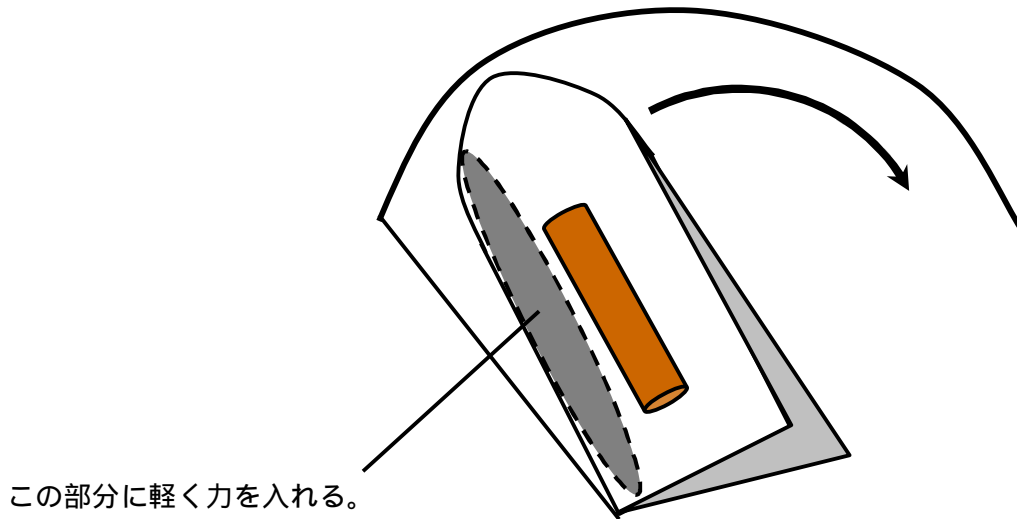
(図-1)

・扇状の様子が規則正しくそろわないよう施工してください。

(図-2、3)

< 施工のポイント >

- ・ 壁面に対しコテの片側を少し浮かすようにして、コテを滑らせパターンを付けます。



この部分に軽く力を入れる。

図 - 1

- ・ パターン付け始めのコテの角度を変えてながら、半径10cm ぐらいの扇を描くようにランダムにパターンを付けます。(図 - 2)。

下図のような順番でパターンを付けます

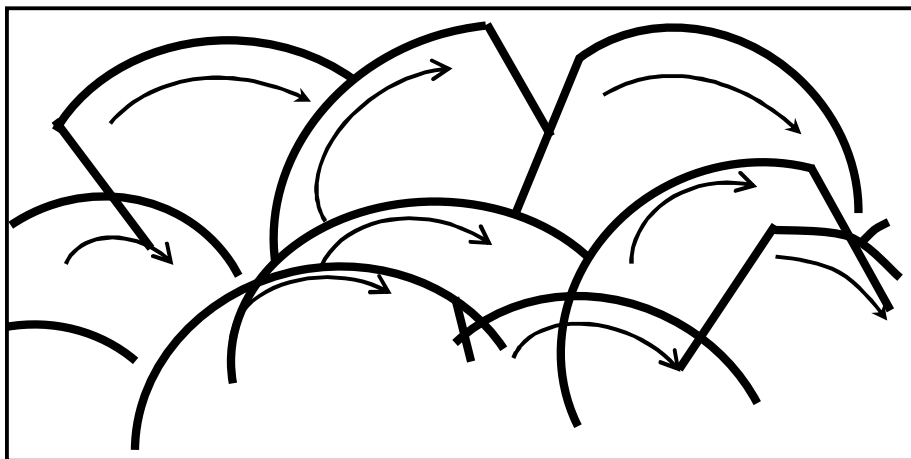


図 - 2

- ・扇状の様子が規則正しくならないように注意してください(図-3)

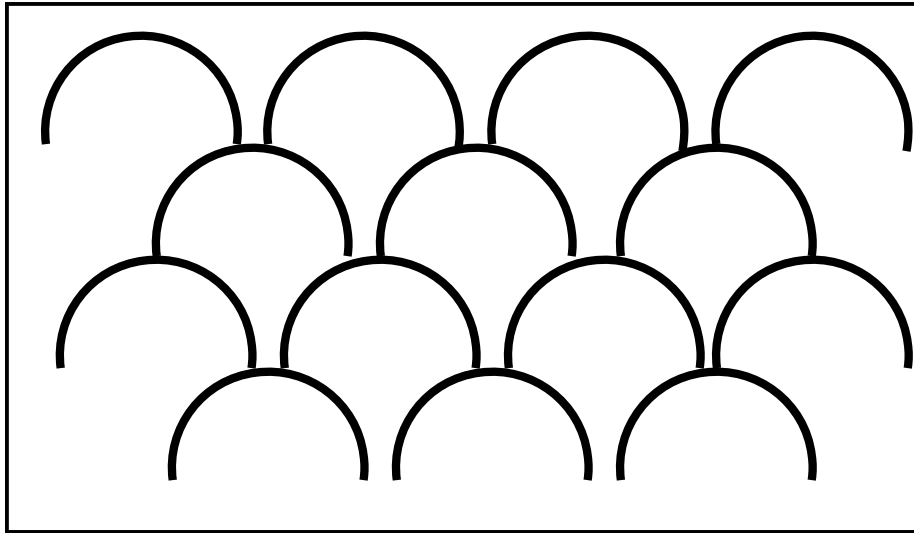
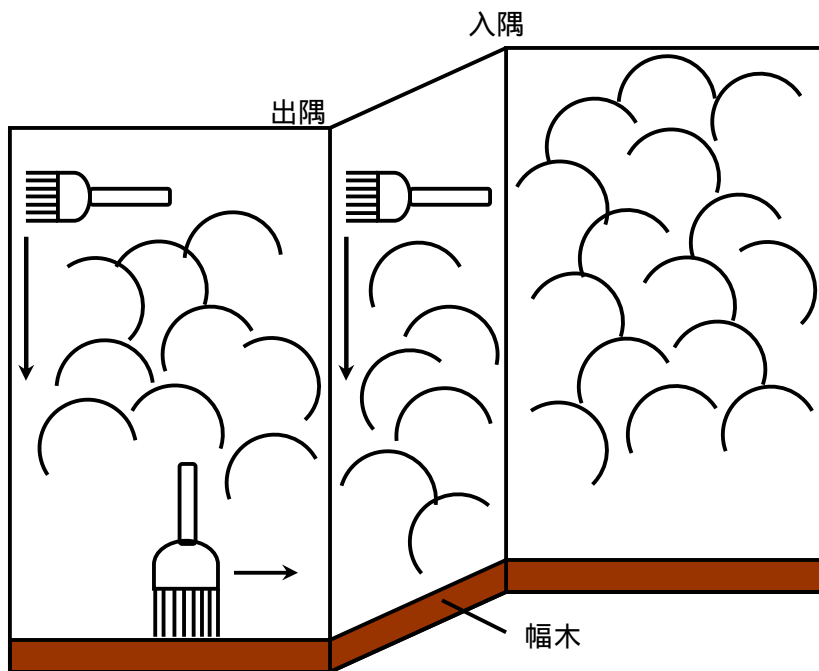


図 - 3

- ・入隅や出隅、幅木のちりは、ジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛(平刷毛など)で押さえるとキレイに納まります。(図-4)



刷毛で押さえる工法

図 - 4

< 施工の注意事項 >

- ・塗布量が少ないと透ける場合があります。十分注意して施工して下さい。
- ・コテの大きさや形状によってパターンは多少異なります。
- ・何度もパターンの手直しをすると、ジョリパットが乾燥し、皮張りをおこし、仕上がりが悪くなるため、速やかにパターン付けを行って下さい。
- ・攪拌容器及び攪拌機は、きれいなものを使用してください。鉄粉等が混入すると変色の原因になります。
- ・コテは必ずステンレス製のものを使用し、使用後は直ちに水で洗い流してください。（コテに樹脂がついたまま放置すると錆が発生します。錆のついたコテで施工すると、壁面に錆が付着し、変色の原因となります。）
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認してください。
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進めてください。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。
(特に外装の大面积を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・気温 5 以下、湿度 80%以上、降雨、結露、強風などの条件下での施工は、硬化不良、ひび割れ、ふくれなどの不具合が発生する可能性があります。
- ・冬季の 5 以下での施工の際は、ジョリパットノフリーズ JPW-100 を推奨します。その際シーラーは凍結防止のため JS - 410 をご使用下さい。
しかしながら、-6 以下、降雨、降雪などの条件下では JPW-100 使用時でも硬化不良などの不具合が発生する可能性があります。
- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への廃棄は避けてください。
- ・商品ならびに施工に関するお問い合わせは最寄の当社支店までお願い致します。

以 上